

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第371号 平成15年11月



『彩雲』 石井好明

目

- | | 頁 |
|---|---|
| 1) 故三枝進氏の一周忌を終えて
坂本保己 … 2 | |
| 2) ホスピス医を経験して (2)
小野寺時夫 … 3 | |
| 3) 悠久の長江 -三峽を下って- (下)
横田卓史 … 5 | |
| 4) 山川日本史を分析する
坂井也彦 … 8 | |
| 5) 西多摩医師会創立90周年
記念懇親パーティー開催
広報部 … 9 | |
| 6) 医師会タウンミーティング
in 西多摩開催
玉木一弘 … 11 | |
| 7) ドックで高血圧は倍増
していませんでした
石井好明 … 11 | |

次

- | | 頁 |
|---------------------------------------|---|
| 8) 地区だより
羽村地区
込田茂夫 … 12 | |
| 9) 同好会短信
ゴルフ部コンペ
田村啓彦 … 13 | |
| 10) 文芸随筆諸事百般
短歌「敬老の頃」
鹿野純 … 13 | |
| 11) 伝言板
広報部 … 14 | |
| 12) 各部だより
学術部インフォメーション
学術部 … 16 | |
| 13) 理事会報告
広報部 … 21 | |
| 14) 会員通知・医師会の動き
事務局 … 23 | |
| 15) お知らせ・訃報
事務局 … 25 | |
| 16) 表紙のことば
石井好明 … 26 | |
| 17) あとがき
石井好明 … 26 | |

新アドレス <http://www.nishitama.tokyo.med.or.jp/>

故三枝進氏の一周忌を終えて

去る9月親類縁者が集まり、故三枝進氏の一周忌法要が菩提寺三枝山長松寺で営まれました。医師会の先輩にして私の従兄でもある故人をしばし回想し、冥福を祈りました。

一年忌を迎えた機会に、没後会報からの依頼であった故人への弔文をここに寄稿させて頂くことにいたしました。

三枝進氏は昨年9月28日、肝臓癌のため平成12年以来青梅市立総合病院で続けられていた治療の甲斐なく、享年76歳で他界いたしました。三枝家代々の医業を継ぐ耳鼻咽喉科の現役医師として日々診療に打ち込んでいた最中のことでした。あらためて生前皆様から永年にわたり頂戴したご厚誼に対し故人に成り代り心から御礼を申し上げます。

故人は十年前心筋梗塞で療養して以来、体力の低下に勝てず、40年近く会員であった西多摩医師会との交流から遠ざかるようになったため、新しい会員の方々にとっては馴染の薄い先輩だったかもしれませんが、50年余に亘る豊かな経験に加え、その気さくで率直な対話で患者さんからは大変信頼され親しまれた地域のよき臨床医でした。

第二次大戦中から戦後にかけて、屋敷の広がった三枝本家には、戦火を逃れ、あるいは住いを失った親戚の3~4家族が各地から疎開して来ていました。従兄弟、従姉妹だけでも10人、幼児から大学生までが同じ棟の下で生活し、まことに賑やかな毎日であったのを思い出します。疎開当初、私は

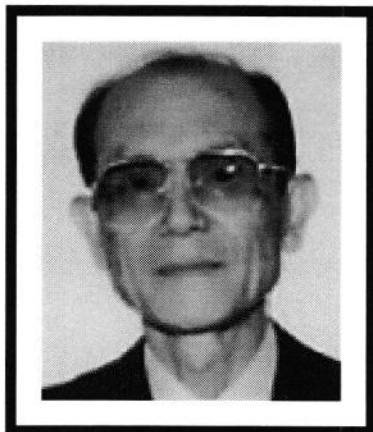
小学1年生、故人は大学生でしたから遊び相手になるような関係ではありませんでしたが、戦後になって野球が復活すると早速キャッチボールが流行り、シューっと空気を切る音をたてて球を投げる進さんが凄い人に見えたものです。温厚な先生と言われた故人でしたが、若い頃はいささか荒っぽいところもあって、ヘビを退治したり、空銃銃でスズメを狙撃したり、ある時は敷地の栗林でクリを盗った悪童を捕まえてピンター発という荒療法などが思い出されます。今だったら動物虐待だの暴行だのと非難されるところかも知れませんが、60年も昔、当時の世間にそんな感覚がなく、子供心に“凄いなー”という羨望が思い出されます。

時は流れ、昭和58年に私が西多摩医師会の会員と

なり、青梅地区の懇親会でお互い医師同士、会員同士として初めて顔を合わせましたが、その後は故人が健康を害し、身内同士とはいえ、患者と主治医という関係で終始してしまったことを残念に思います。年齢の上ではまだまだこれからというところで、故人には豊かな経験を生かしたさらなる指導を多くの会員が願っていたと思います。

故三枝進氏の一周忌法要の機会に故人への弔文を会報紙面に掲載させて頂きましたことを深く感謝申し上げます。

青梅市健康センター 坂本保己



ホスピス医を経験して (2)

日の出が丘病院ホスピス医 小野寺 時 夫

◇進行がん患者の疼痛

進行がん患者の70%強の人に痛みがあり、そのうちの約50%に強い痛み、約30%に耐え難い痛みがあるといわれる。しかし、今日では医師が適切に対処すれば、この痛みの約90%はよく抑えることができ、世界的にもがんの痛みで苦しませるのは時代遅れだといわれている。

ホスピス医を経験してみると、がん疼痛に関して3つのことに気付く。1つは、疼痛コントロールが十分になされていない患者が非常に多いことである。2つ目は、モルヒネの使用をためらっている医師が今日でも少なく、患者や家族には中毒になるとかモルヒネを使うようになれば万事終了だと誤解している人が多いことである。3つ目は、高齢になる程痛みを我慢していて、家族にもありの儘話さず、医師の質問にも正直に答えない人が意外に多いことである。

「ある程度痛むのは仕方がない」、と医者も看護婦も語った、「夜中に看護婦を呼ぶのは悪いと思って遠慮していた」、「痛いと何度も言う」と医者も看護婦も不機嫌な顔をするのでなるべく我慢していた」、等と前にかかっていた病院での悩みを訴える人が驚く程多い。しかし、この現実には、私自身が後悔させられている。それは、私のがん治療に情熱を燃やしていた若い頃、進行がん患者の疼痛対策を十分にしていたとは思えず、今頃になって患者に詫げる心境になっているのである。

疼痛コントロールが十分でなかった患者が痛みから解放されると、急に明るくなって活力も出、前向きに物事を考えるようになり、食欲も増加する。モルヒネを併用する等でよく疼痛コントロールをされた患者の方がそうでない患者よりも長生きできることも、証明されているといつてよい。言う迄もないが、痛みで苦しむ事は、生きている者にとって最悪の事態である。

◇がんの痛みの特徴

がんの痛みは他の原因の痛みとは異なった特徴があるので、釈迦に説法的嫌いがあるが、これについて少し触れたいと思う。

その特徴の1つは、痛みの原因が患者毎に異なり極めて多彩だということで、もう一つは、同じ痛みの刺激でも患者の心理状態によって感ずる程度に差がでることがある、ということである。

知覚神経の分布が豊富な腹膜、骨膜、筋膜、皮膚等や腹腔神経叢、脊髄から出る神経にがんが浸潤する時痛みが強い。更にはがんの場合この他にもいろいろの原因による痛みがある。腸閉塞で痛みを嘔気嘔吐を伴う、腹水貯留が高度なために腹部の苦痛だけでなく腰背部痛を伴う、脊椎骨がつぶれ神経を圧迫する、長幹骨の病的骨折を起した、褥瘡がある、等多彩である。

知覚神経の末端が痛みを感知すると、この情報が脊髄を通過して脳に伝えられて一瞬に痛みの部位・程度を判断するが、実際には脊髄と脳との間にいろいろのやりとりが行われているといわれる。切り創ずの痛みは間もなく軽くなったり無くなったりするが、これは痛みの回数が少ない場合、脊髄が後から来る刺激を弱めたり脳が脊髄に情報を送らないように指示することが起っているといわれる。ところが、がんの場合は、痛みの刺激が絶えず起っているため、脊髄に情報が次から次へと伝えられるため、脊髄が情報を弱めることができず、逆って情報を強めて脳に伝達するようなことが起ったりするといわれる。

痛みの情報は最終的には脳に伝えられて部位、性質、程度が判断されるので、その時の精神状態によって同じ程度の痛みでも増幅されたり軽減されたりすることがしばしばある。

従って、がんの痛みは、原発臓器、悪性度、浸潤や転移の状態によって異なり、更に心理状態も関係し、患者によっては呼吸苦を

(4)

伴ったり身の置き場のない全身倦怠があったりと、百人百様といってよい。

◇疼痛緩和の実態

進行がん緩和ケアに於ける疼痛対策は、モルヒネ併用による薬物療法が主であるが、病態によって神経ブロックを併用したり、放射線治療を行ったり、稀には前立腺がん、乳がん等の場合にホルモン剤や抗がん剤を投与することもあるし、長幹骨の転移による病的骨折には手術をすることもある。副作用や侵襲を少なくして如何に疼痛コントロールを上手にするかが、ホスピス医の重大な任務である。

◇鎮痛剤投与

多くの場合、最初に用いるのは消炎沈痛剤（非ステロイド沈痛剤）である。この種のものは、がん周囲組織の炎症に関係するプロスタグランジンの産生を抑制する。消炎沈痛剤だけで効果が十分でない時にモルヒネを併用するが、最初からモルヒネを用いる場合もある。モルヒネ投与に関しては次回に述べるが、効果は絶大で末期がん患者の扱いの薬であるといつてよい。全般的には痛みが増加するにつれて、消炎沈痛剤とモルヒネの併用が必要になることが多い。がんの神経浸潤、胸膜・腹膜への浸潤や転移、骨転移等の場合、モルヒネだけ増量しても効果が十分得られず、消炎沈痛剤の併用を必要とすることが多い。少量のステロイド投与を併用すると沈痛効果が増すことがしばしばある。ステロイド自身に消炎作用があるが、消炎沈痛剤の効果も増強するといわれる。しかし、ステロイドは鎮痛効果を高め、食欲を増し、活力を呼び起す等の反面、蛋白異化を促進したり、免疫力を低下させて感染に対する抵抗力が減退するので必要最小限にとどめるべきである。糖尿病患者では高血糖を増悪するので注意深い投与が必要である。

消炎沈痛剤も連用するので副作用が問題となることが多い。投与量にもよるが、この単独経口投与で直ぐ胃腸障害を訴える人から数ヶ月以上続けても問題ない人迄個人差が著しい。健胃消化剤や抗潰瘍剤を併用することで副作用が多少抑制できることが多いが、この併用効果の明かでない人もいる。消炎沈痛剤の胃腸障害は経口投与よりも坐薬の方が少ない。その他の副作用として、皮膚発疹や多

量長期使用によって骨髄抑制を起すことがある。1日数百ミリグラムの多量投与を必要とする場合は、持続皮下注射の方が適切である。患者によっては、非ステロイド沈痛剤でも静注投与の方が明かに有効なこともある。

疼痛コントロールは、沈痛剤投与が基本であるが、これだけでは十分でなかったり、適切でない場合もしばしばある。

◇放射線照射

腫瘍を縮小させたり増大を抑制すればそれだけ沈痛効果もあるわけであるが、高度進行がんでは切除や化学療法による縮小は望めず、このためには病態によっては放射線照射が非常に有効である。神経浸潤や骨転移に大変有効なことが多く、末期がん患者では頻回の照射は負担が大きいので1回～数回での大量照射が好んで行われるが有効なことが多い。脳転移に対する全脳照射やガンマナイフによる限局部位に対する多量照射も大変有効なことがある。勿論、放射線感受性のあるがんの適切な病態を選んで行う。

◇神経ブロック

神経浸潤、骨転移、筋膜浸潤等の激しい痛みに対しては神経ブロックが大変有効なことが少なくない。しびれ感は薬物投与ではとれにくく、神経ブロックが有効なことが多い。硬膜外やくも膜下のブロックを行うため麻酔医による施行が必要であることが多い。

◇その他の疼痛対策

胸水貯留による腹痛や腹水貯留による腰背部痛に対する穿刺排液、イレウスに対する適切な対処、長幹骨転移部の骨折に対する手術、がん浸潤が関係しての膿瘍形成部の切開、褥瘡の処置、他いろいろの場合に病態に応じた適切な処置が必要である。緩和ケアに於ける疼痛対策は薬物療法が主流ではあるが、それだけでは適切でなく、病態によっていろいろの分野の医師の協力が必要になる場合が少なくない。

第370号（10月号）P5 訂正

日本医師会雑誌 → 日本医師会雑誌8月号

— お詫びして訂正いたします —

悠久の長江 —三峡を下って— (下)

横田卓史

翌朝船は「奉節」へと進み、愈々憧れの「白帝城」見学である。白帝城は三峡の最上流の峡谷「瞿塘峡」の西に位置し、漢の時代の公孫述が四川を拠として自ら白帝と称しこの城を白帝城と名づけた。三国時代蜀の皇帝劉備が、忠臣関羽の弔い合戦で呉の陸孫に敗れ白帝城に退き、死の直前に諸葛孔明に息子劉禪を託した、「白帝城にて孤を托す」という史実の残る場所でもある。我が子が不才なら君が取って代って国を治めてくれと頼まれた孔明であったが、「臣、敢えて股肱の力を竭し、忠節を效し、之に繼ぐに死を以てせん」と答え懸命に暗君を補佐したが、志し半ばで五丈原で没した。

白帝城は山頂にあるため栈橋から細い山道を十数分程登らなければならない。かなり急な坂道もあるため、現地の少数民族の男の駕かきがいる。上半身裸で恐らく体脂肪は10%以下、小柄だがボクサーのような体をしていて、太った日本人のオジサンやオバサン時には若者まで数百円で駕に乗せて登って行く。我々三人は我が身を恥じてとても乗る気になれず、汗をかきかき歩いて登った。城内は劉備、関羽、張飛、孔明等三国史の英雄の像や、李白や杜甫の句碑、孔明が星占いをした観星亭などの建物があり、展望台から眼下に瞿塘峡の絶景が見渡せる。古來文人や墨客が好んで訪れ詩文を残してゆくのも宜なる哉である。李白の詩が全てを語っている。

早発白帝城
朝辞白帝彩雲間
千里江陵一日還
兩岸猿声啼不住
輕舟已過万重山

船に戻り愈々三峡を下る。長江三峡は瞿塘峡、巫峡、西陵峡の三峡谷からなり、西の四川省奉節県の白帝城から東の湖北省宜昌の南

津関まで全長193kmに及ぶ。川幅は100mから300mで、川床は平均5kmで1m下がる。流速は渇水期で4km/時、増水期の激しい所では25km/時である。年間平均気温は18.4℃で雨は7、8月に集中する。瞿塘峡は三峡の中で最も短く全長8kmであるが最も雄大な峡谷で、兩岸の雲をつく絶壁に挟まれた川幅は狭い所で100m程しかない。三峡の絶景ポイントとして最もよく紹介されるのもこの瞿塘峡である。(写真4)



7000万年もの歳月をかけて自然が造り出した大峡谷を船は事も無げに数十分で通り抜けてしまったのだが、この間左右に広がる圧倒的な大自然の懐に飲みこまれ唯呆然と眺めているのみであった。昼過ぎ「巫山」に着く。ここで小型の船に乗り換えて「小三峡」へ向う。長江の支流である大寧河はここで長江に合流するが、この大寧河の巫山までの50km程が「小三峡」と呼ばれ、その名の通りスケールは小さいが景色の良さでは三峡にも勝るといわれ、峨々たる峰々と峡谷が連綿と連なり、丁度黒部峡谷のような風景を作っている。暢びりと船遊びを楽しむのだが、特筆すべきは断崖絶壁に残された古栈道の跡である。蜀の古栈道は、「蜀道之難、難於上青天、一夫当関、万夫莫開」と歌われた如く、古代三峡において船以外の交通手段として唯一絶壁に作られた狭い山道である。栈道には二種類あり

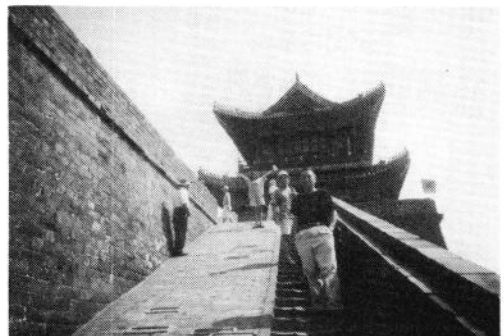
一つは絶壁をくり抜くように岩を穿ってつくられた道であり、通常水面より数十m高い部位にあり、巾はせいぜい2～3mである。極めて険で下から見上げるだけでも恐い程である。もう一種は岩壁に17cm四方の穴を穿ち、そこに丸太を差し込みその上に板を敷き道とするもので、穴と穴との間隔は1.7m程である。掘削機も電気ドリルも無い古代、気の遠くなるような根気のいる手作業で絶壁に栈道を作った古代中国人の壮挙に只々頭が下がるのみである。さてこの船は屋形船程度の小さな船であるが、峡谷を移動するため船首に水先案内の船頭が腰かけている。

人懐っこい内宮君は袖すり合うも多生の縁で暢びり腰かけている船頭に話しかけたところ、はめていた腕時計をせびられたと言ってスゴスゴと引きあげて来た。この辺りは世界的に有名になった「野人」が出没した原始林で囲まれているが、野人どころか油断も隙もあつたものではない。客船に戻り夕食までの時間第二の峡谷「巫峡」の名所である「神女峰」や「孔明碑」などを船中より眺め「幽深秀麗」と形容された峡谷の自然美を堪能した。夕食の中華料理もそろそろ鼻に突き始めたが仕方がない。船内は御多分に漏れず多数の土産物が売られているのだが、その一角の人集りで何やら書家のような人が書き物をしている。暇にまかせて覗いてみると有名な書家らしく客の求めに応じて即座に即興詩を作り、これを「箴字詩」というのだそうだが、指で紙に書いてくれるという。その詩には必ず自分の名前が読み込まれ、仕事や趣味のことなど客の注文に応じて作詩してくれ、しかも数分の間に紙に指書してくれるのである。これが驚くことに筆で描いた如く達筆である。「姜先成」という方で三峡奇石館館長の肩書きを持ち、日本のNHKでも紹介され、銭其深副総理や日本の村山富市元首相も訪中時に指書してもらったということである。頼んでおくと翌日までに額入りや掛け軸に装丁してくれる。旅の良い記念になると思い作ってもらい今は床の間に飾ってある。

横峰側嶺妙不同
田原賞月見情濃
卓異人才兼孝義
史書愛読一代雄

翌朝、戦国時代楚の有名な詩人屈原の故郷である「秭帰」や、漢代の美人で名を轟かせた王昭君の故郷である「香溪」を通り最後の峡谷西陵峡に入る。西陵峡は急流渦巻く長江一の難所であり、「灘險水急」と称されたが、その下流に長江一の大規模水利施設である「葛洲壩ダム」が建設され穏やかな流れに変わった。朝霧の中を進んで行くと突如巨大なコンクリートの堤防が現われてくる。建設中の三峡ダムである。この世界最大のダムは、1919年孫中山により提案され1992年全人代で承認されるまで構想70年、万里の長城以来の大事業といわれ、ようやく1994年12月李鵬首相が本格的着工を宣言した。工期は四期に分かれ完成は2012年、総工費3000～5000億元、ダムの大きさは高さ185m長さ2309m貯水量393億m³、ダム湖の距離は上流の重慶まで約600km、発電容量は1820万kW（日本の水力発電の年間総発電容量に匹敵）、長江沿岸の13市が水没し120万人がこのため移住し、ダムに近接して10万人の新しい町が建設のため人や資材調達のために出来てしまったという壮大なプロジェクトである。これ程の大事業になると世界規模の環境への悪影響が懸念されるが、結論は後世まで待たねばなるまい。完成の暁には是非再び訪れてみたいものである。船は葛洲壩ダムにさしかかった。

中国で現存最大の水力発電所であり、電力供給、治水灌漑に寄与している。シップロックの水門を30分かけて通過しようとう終点の



町「宜昌」について。長江の大自然を満喫した二泊三日の船旅を終え、「平湖2000年号」に別れを告げ一路バスで「沙市」へ向う。沙市は比較的新しい町で、ハスの実とスッポンが名物だそうだが近郊に有名な「荊州古城」がある。三国時代の城で周囲10kmにわたり城壁が町を囲み、城壁の上から市街地が一望できる。現在の城壁は「清」代に修復されたものである。(写真5) その後「荊州博物館」を見学した。春秋戦国時代と西漢時代の文化遺産が多く、圧巻は2140年以上も前の男性のミイラが完全に近い状態で保存されていることである。博物館から2時間半バスに揺られて「武漢」に入った。途中洞庭湖、岳陽楼、三国史の古戦場の赤壁などの名所があるのだが、残念ながら今回は立寄る余裕がなく素通り。「武漢」は湖北省東部で長江と漢水の合流点に位置し、長江大橋、漢水橋により川を挟んで「武昌」、「漢口」、「漢陽」が合併した省部で「武漢三鎮」といわれている中国最大の商工業都市である。人口は720万人で、雨の多い亜熱帯気候であるが四季はある。淡水真珠、武昌魚という川魚、トルコ石が名物とされている。市内には市のシンボルである黄鶴楼、湖北省博物館、東湖、五百羅漢で名高い帰元寺などがある。恒例として気温が40℃を越えると公に有給休暇がとれるらしく、天気予報では決して40℃以上の予報はされないとか。又マージャンが盛んで遊び人が多いのか、女性が理想の結婚相手として求める男性像は、ニワトリより早く起き、豚より良く食べ、牛より良く働き、犬のように忠実な男だということだから武漢の男も大変である。洋の東西を問わず女性は欲深いなどと曰うなかれ、昨今の日本の若い男性も似たような目にあっているやも知れぬ。夜は武漢のホテル泊となったが、ガイドのローさん釘を刺すことを忘れなかった。街のネオンにつられて決して黙って外出しないようにとの事。日本人の多くの社長さん達が身包み剥されたとか、手持ちの現金100万円も取られたなどという話は枚挙に遑がないとの事。尤も我等三人、連日の暑さと油濃い中華料理のお蔭で腹の調子も今一つの上、金も度胸も無く只管寝るのみ

であったが、翌朝、最後のお目当である黄鶴楼に登った。現在の黄鶴楼は五層七階の偉容を誇るが、唐の時代は三階建だったらしい。60mの最上階に登り見渡せば遥かに長江を望み、周囲の建物は近代化しているとはいえ、李白が孟浩然を広陵に送った時と同じ流れが1200年の時を経て滔々と流れてゆくのが見える。(写真6)



黄鶴楼送孟浩然之広陵

故人西辞黄鶴楼
煙火三月下揚州
孤帆遠影碧空尽
唯見長江天際流

後髪を引かれながら黄鶴楼を後にし、湖北省博物館と東湖を慌ただしく散策し夕方の便で上海へ戻った。上海ではムーさんが出迎えてくれ、旅の最後の夜の思い出にと我々三人ともう一組の男連れ5人を連れて繁華街のカラオケクラブへ案内してくれた。女の子達は皆若く片言の日本語でデュエットしてくれ、最後の夜は楽しく更けていった。翌朝上海虹橋空港を飛び立ち、中年男三人の珍道中は無事終りを告げたのである。 再冗

山川日本史を分析する(90ページまで)

坂井也彦

「武士の成長」 宮廷の警備にあたるのが滝口の武士。彼らは番犬として京都に呼ばれた武士だったが、地方ではすでに武士「団」が形成されていた。菅原道真の怨霊に京都の貴族が脅えている頃、承平・天慶の乱が起こる。主人公平将門（新皇を称する）は桓武天皇から数えて5代目、もう一人の主人公藤原純友は藤原冬一から数えて4代目の家系。彼らは元皇族、元貴族でありながら国府や太宰府を襲撃する武士団に変質していた。この武士団を鎮圧したのも武士団である。源氏は平忠常の乱、前九年合戦、後三年合戦を経て、東国に強い影響力を持つようになってくる。「荘園と公領」ある開発領主が考えた。租税を払わなくともよい（不輸）というお墨付きは貰えないものかと。それに上流貴族が答えた。「君だけ特別だよ」と。そこで寄進地系荘園が生まれた。法的根拠が無ければ根拠を作ればよいということで官省符荘（政府公認）と国免荘（国司公認）というお墨付きが発行された。前者は大政官符と民部省符の二つがセットで無税になるシステム。後者はその国司の在任中に限り無税になるシステム。しかし、荘園と従来の公領の区別は明確ではなかった。租税を厳しく徴収するべき国司が、一方で寄進地系荘園を認可するのだから、混乱するのは当たり前だ。そのうち、役人の荘園への出入りを拒否する（不入）荘園も出てきた。政府が財源の確保に苦しむ一方で上流貴族は甘い汁を吸っていた。しかし、ここで撰閥家は躓く。藤原頼通の娘には皇子が生まれなかったのである。そのため、撰閥家を外戚に持たない後三条天皇が即位した。「後三条天皇と院政」彼は1069年に思い切った荘園整理令を実行した。実務は国司ではなく記録荘園券契所、かなりの成果をあげた。（それでもしらばくれる人あり。冗談で記憶消失券契所）この天皇はわずか4年の在位で白河天皇に譲位する。白河天皇は15年の在位の後に上皇となり、年若い天皇を補佐するた

めに院政を開始した。上皇が国政を左右したのは人事権を掌握していたためである。白鳥とゴジラ＝白河上皇＋鳥羽上皇＋後白河上皇（以下ゴジラ）の院政は100年続く。院の御所の警備にあたるのが北面の武士。（有名な平正盛、平清盛の祖父）白河上皇はどうも源氏は嫌っていたようである。後三年合戦の後に源義家への土地寄進を禁止している。さらに、源義家の息子義親を平正盛に命じて追討させている。彼は鴨川の水、双六の賽、山法師以外は思いのままに動かし、77歳で死去した。「鳥羽院政」政治はむしろ乱れた。

1. 放漫財政－大寺院や鳥羽離宮の造営。（実教）の復元図によれば法勝寺には高さ80メートルを越える八角の九重塔が聳えている。こうした六本木ヒルズなみの寺院を院政期だけで6箇所も作ったから財源は当然不足する。
2. 権力の独占－院の知行国を作り私有化する。院の妻や娘に荘園を集中させる。院の近臣（とりまき連中）が院にねだって国司になる。国司の中でも現地に赴任して暴利を食るのが受領（ずるいの語源）。
3. 上皇の中の一人在（治天の君）として人事権を握るため皇族内で紛争がおこる。これが「保元の乱」。藤原家における（院の近臣）の内部抗争が「平治の乱」。鳥羽法皇の死を契機に前者が起こり、結局ゴジラの勝ちとなる。三年後、藤原信頼が恩賞に不満を持つ源義家と組んで信西を討つが、平清盛の逆襲で源義家は殺害される。これが後者。ここまでくると武士は自分の力を自覚し、ゴジラもそれを認知せざるをえない。清盛は平治の乱後8年後に太政大臣となる。「平氏政権」基本的には院政の知行国制と同じ。さらに大輪田泊を修築して日宋貿易を推進するが、大量の宋銭が市場に流入したため物価上昇をきたした。私はこれを（清盛インフレ）と呼んでいるが、政権崩壊の理由は飢饉や、福原遷都の失敗にあるとする書物が多い。

西多摩医師会創立90周年記念懇親パーティー開催

西多摩医師会創立90周年懇親会が10月12日(月)午後6時半よりパレスホテル立川にて開催された。参加者は来賓6名、A会員54名、B会員・令夫人32名、薬剤師会より14名、歯科医師会より8名、その他6名で総勢120名が参加するとともに華やかな会となった。

小机敏昭理事の司会により会は進行した。まず初めに、この10年間に亡くなられた物故会員総数30名の方々に対して黙祷が捧げられた。

オープニングに東海大学付属菅生高校吹奏楽部の演奏があった。70人で編成された大きなバンドで、高校生と思われないほどのすばらしい演奏を聞かせてくれた。ソロの演奏の部分では次々と出てきては一生懸命に楽器を吹き、キチンと礼をして下がっていく。これを見ているだけで、どうしてこんなにうまく演奏ができるのか、これは先生の努力の賜物で、そしてそれに答える才能を皆が持っている、それを先生が引き出したのだなどと考えていると胸が熱くなってしまう。最期に「空より高く」という曲を聞かせてくれた。前に手話をしながら歌う高校生たちとその後ろで

空に響くような澄んだ演奏は、私たちの心に涙とともに深い思いを刻み付けてくれた。

宮川栄次会長の挨拶の後、来賓挨拶として唐澤祥人東京都医師会会長、武見敬三参議院議員、野村有信都議会議員が祝辞を述べられ、西村邦康元会長が今までの西多摩医師会の思い出を述べながら乾杯の音頭をとった。

予定時間の遅れなのか、ややあわたたしいディナーコースを食べながら楽しい歓談のときを持った。その中で、長く医師会に貢献された会員9名に対して表彰式が行われた。出席された唐橋善雄会員、栗原三省会員、松原貞一会員、湯川文朗会員、米山秀雄会員が壇上で宮川会長より表彰を受けた。次に長く地域医療に貢献された会員30名に対しての表彰式が行われ、尾形永太郎会員、道又正達会員、植田稔会員、清水章三郎会員が壇上で表彰を受けられた。

最後に今年4月より都医理事となった玉木一弘副会長と真鍋副会長より挨拶があり、皆歓談の途中という名残惜しさを残しつつ散会となった。

(葉山 隆)

被表彰者名簿

《1号該当者》

足立 卓三
大堀 洋一
唐橋 善雄
栗原 三省
葉山 侃
平林 信隆
松原 貞一
湯川 文朗
米山 秀雄

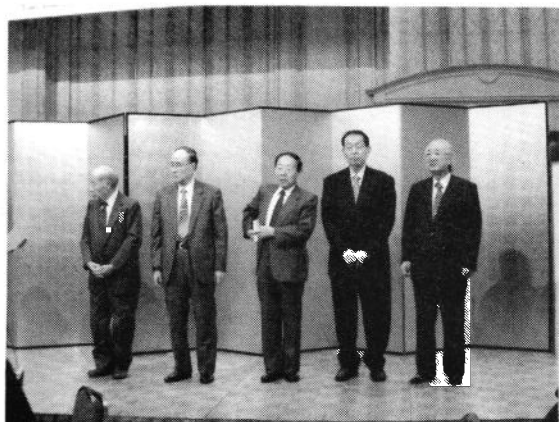
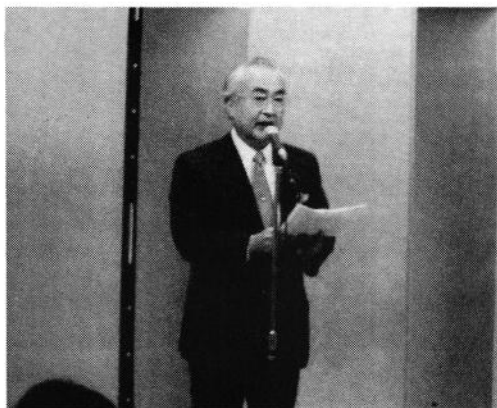
《3・4号該当者》

大久保憲二
松田三樹雄
三枝 襄二
尾形永太郎
道又 正達
森 和胤
宮川 翠子
荒井 康温
中川 活治
奥野 澄子

波田野洋夫
佐藤 民雄
竹内 靖信
小澤 昌彦
塚本 光夫
藤野芙美子
辛 兌基
星 和夫
市原 靖
鈴木 穆

(敬称略)

中林 敬一
佐々木 章
大日方邑次
鈴木 良亮
濱松 輝美
秋山 静夫
杉本 一
植田 稔
井村 進一
清水章三郎



医師会タウンミーティング in 西多摩開催

10月12日(日) 西多摩医師会創立90周年パーティーに先立ち、『これからの医療と医政を考える』をテーマに、西多摩医師政治連盟主催、西多摩三師会の後援で、パレスホテル立川にて、約70名の出席を得て開催された。冒頭、武見敬三参議院議員より、最近の医療政策をめぐる攻防の現状、政治力学における医政の役割、医系議員育成の重要性等について、唐澤祥人東京都医師会長より、医師会の今後のビジョンと医政との係わりの重要性について、また、野村有信都議会議員より、投票行動等による具体的意思表示の重要性について基調発言があり、フロアを交えたフリートーキング形式での討論が行われた。医療従事者の主張を国民に届け、医政連の活動が会員にとって実感のあるものにして行くために、マスコミを恐れず多様な方法で、アピールして行く戦略的な働きかけが必要ではないか。先の参院選で医師会の集票力低下が、医療政策の後退に影響している以上、医療関連団体が結束して発言権を高め、ことに当たる必要がある。医療費の総枠設定や株式会社の参入などが安易に容認されれば、益々医療単価は下がり続ける結果となる、安全で質の高い医療を提供するにはコストがかかることを主張して行くには、具体的な投票行動が必要である等の活発な議論があった。

(玉木一弘)



ドックで高血圧は倍増していませんでした

(青梅市健康センター人間ドック第17報 訂正)

青梅市健康センター 囑託 石井好明

会報368号(8月号)8頁(表3)(7)に高血圧者の割合が13年間に男性は1.8倍、女性は1.2倍に増えたと報告しましたが、昭和63年頃は151/91 mm Hg以上を高血圧として集計していたことに気付き、平成13年度もその基準で集計し直しました。その結果、男性は12%で1.2倍増えたと過ぎず、女性は6%で6割に減っていました。従って、高血圧は倍増していませんでした。

また、369号(9月号)5頁(表5)(13)のGTPはGPTのミスプリント、(16)花粉症の女性の昭和63年度の頻度は16%、男性は13%、(17)飲酒の女性は10%であることも判明しました。(それぞれのB/Aの数値に誤りはありません。)

以上、確認不十分であったことをお詫びして訂正いたします。

地区だより

羽村地区 「滝浦復平先生傘寿、堤次雄先生喜寿のお祝い会」

去る9月27日土曜、昭島のフォレストイン昭和館にて両先生の長寿お祝いの会が13名の参加を得て催された。滝浦先生のご要望で夕刻4時からの早い時間の開会となった。

滝浦先生はこの手の会合にはほとんどお顔をお見せにならないので、久し振りにご一緒された先生が多かったのではないかと思う。

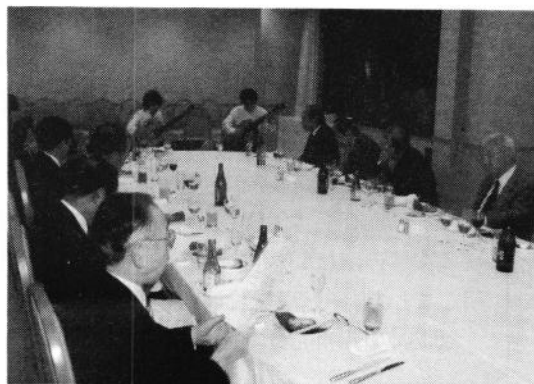
(準備をしていた者としてもご出席していただき本当にうれしく、良かったと思っております。)先生は開業前、福生病院におられたそうで、同窓の大久保先生や松原先生、三枝先生と囲碁が強かったことや当時おおらかだった看護師の話、白衣のポケットの中に忍ばせていたウイスキー入りの薬ビンの話などで盛り上がった。中でも病院屋上での患児家族との面談(?)、帰宅途中の電車の中で変なおばさんに声をかけられついていった話には皆大笑いとなった。「人生、楽しむべし」とのお言葉。傘寿にしてこの茶目っ気ぶりに乾杯!

一方堤先生は会合という会合にはほとんど出席されており、本当に頭の下がる思いです。先生は先輩のいた立川の病院に外科医として九州から手伝いに来られて、その後羽村に開業されたとのこと。先生は会報に味わい深い旅の随筆を度々投稿され、ファンが多い

ことで有名です。10年位前に書かれた随筆では電車の中で若い男の足を踏んでしまい、名刺を渡してきたと書かれていましたが正にその通りのジェントルマンです。責任感と本当の勇気がないと出来ない行為だと思います。アルコールはお好きなようで、下痢をしても体調が悪くても晩酌は欠かさないとのこと。ポリフェノールが健康の秘訣でしょうか?今後も随筆を書いていただくのはもちろん、一度聞かせていただいた「サントワマミー」をまた熱唱していただきたいものだと思います。

アトラクションのトッププロ二人によるギターデュオコンサート最後の曲目は「君の影になりたい」。お二人とも適度のアルコールと「あなたの影になりたい」という人が多かったことが、若さと健康の原動力なのではないでしょうか。うらやましい限りです。記念としてスウェーデン製のブーケグラスをペアで贈らせていただき閉会となったが、閉会時刻が早かったためなのか、はたまた滝浦先生の「人生、とどのつまりは□□□だ。」の奥義を請いたかったのか、当会には珍しく全員が二次会に参加となった。

込田 記

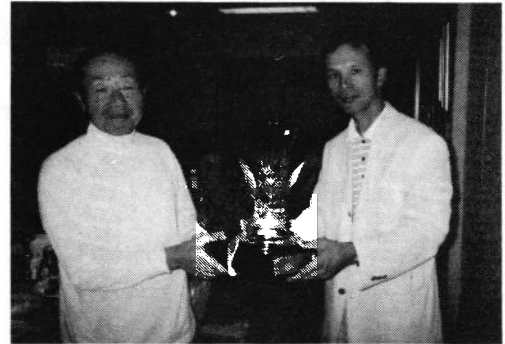


同好会短信

ゴルフ部コンペ

去る9月21日、立川国際カントリー倶楽部草花コースに於いて、恒例の医師会コンペが新ペリア方式のストロークプレーで開催されました。当日は台風の急接近による土砂降りでの回復の可能性なく、中止すべきか直前まで迷いましたが、雨が降ろうが槍が降ろうかといったゴルフ好きの会員がほぼ全員結集。フェアウェーはカジュアルウォーター、バンカーは水溜りと化した最悪のコンディションのなか、コンペは決行されました。結果は別表の如く、前半のパットの不調を昼食後1人黙々と雨の練習グリーンで調整した甲斐あり、後半38を叩き出した江本会員のベスグロ優勝でした。

次回のコンペは来春3月開催の予定です。
(田村啓彦)



順位	氏名	アウト	イン	グロス	ハンディ	ネット	
優勝	江本 浩	40	38	78	4.8	73.2	ドラコン賞×2 ベスグロ賞
準優勝	渥美 浩	47	45	92	16.8	75.2	ニアピン賞
3位	諸角 強英	49	50	99	22.8	76.2	ニアピン賞
4位	馬詰良比古	46	49	95	16.8	78.2	
5位	田坂 哲哉	57	50	107	28.8	78.2	
6位	田村 啓彦	50	50	100	21.6	78.4	ニアピン賞
7位	松原 貞一	45	46	91	12.0	79.0	ラッキーセブン賞
8位	青山 彰	42	47	89	9.6	79.4	ドラコン賞×2 ニアピン賞
9位	笹本 良信	48	53	101	21.6	79.4	
10位	岡田 清己	51	48	99	19.2	79.8	
11位	寺嶋 伸治	54	56	110	26.4	83.6	
12位	堤 次雄	62	66	128	40.0	88.0	
13位	河内 泰彦	57	55	112	21.6	90.4	ブービー賞
14位	野村 中夫	58	71	129	36.0	93.0	ブービーメーカー賞



文芸随筆諸事百般

敬老の頃

鹿野純

孫四人息子と嫁と墓参り

子供は成長少し説教

秋川の青空広く丘の上

都会のうさは眼下に消えぬ

晴天の敬老の日は暑すぎし

孫等の食欲旺盛変らず

孫一人医者になると断言し

嬉しき一杯緑の車窓

宵の月火星近づき神秘的

孫達見ると号令をする

敬老はどうかと聞けば掃除婦は

戦時の苦勞話始める

新聞もラジオも阪神タイガース

日本にばらまけ祝いの景気

日本の人口二割は老人で

奇想天外発明を待つ

伝言板

西多摩医師会主催【市民健康講座】

NHKでもお馴染み、民謡界で大活躍中の大塚文雄さんを講師にお迎えします。
ご自身の健康ライフについて大塚さんならではのリズムカルで楽しいトークを
ご堪能下さい。

日 時 11月29日(土) 開場 PM 1:30 開演 PM 2:00
場 所 羽村コミュニティーセンター
演 題 「大塚文雄の健康塾 一声こそ人生」
講 師 民謡歌手 大塚 文雄 先生
受 講 料 無料
問合せ先 西多摩医師会 TEL 0428-23-2171
青梅市西分町3-103

昭和15年 山形県生まれ
昭和34年 上京し初代鈴木正夫の内弟子となる

その後、(財)日本民謡協会主催の全国大会で優勝しキングレコード専属となる。
100万枚を越すヒット曲、舞踊歌謡「祝賀の舞」を発表し、民謡歌手初の歌
舞伎座リサイタル開催や日本武道館公演、テレビ番組司会・出演(NHK、
TBS、その他 etc.) など多方面にて活躍中。CD 等も多数発売。

『忘年クリスマス会』開催のご案内

会員の皆様にはお変わり無くお過ごしのことと存じます。さて年末の恒例となりました『忘年クリスマス会』を下記にて開催致します。

各地区及び会員各位の相互理解の増進と地域医療の発展を期し、勤務医、職員、ご家族の方々にも多数ご参加頂き、例年同様賑やかに本年を締めくくりたく存じます。皆様お誘い合わせの上、是非ご出席下さい。

日 時：12月17日(水) 午後7時30分～9時30分
場 所：昭和の森 フォレストイン昭和館
シルバンホール Tel 042-542-1234

平成16年新年賀詞交歓会開催のご案内

日 時：平成16年1月17日（土）午後6時

場 所：青梅市福祉センター 「ふよう」

会 費：5,000円

余興・福引など用意いたします。

.....

第2回西多摩医師会臨床報告会のご案内

- 〈開催日時〉 平成16年3月24日（水）午後7時30分から午後9時30分
- 〈開催場所〉 福生市内の予定
- 〈演題募集〉 西多摩医師会会員の皆様の臨床での貴重な経験を発表して下さい。
演題名および抄録を西多摩医師会へ Fax して下さい。
- 〈発表者〉 西多摩医師会会員に限ります。
コメディカルの発表は会員との共同発表になります。
発表希望者が多数となる場合、次回発表とさせていただきます。
- 〈発表内容〉 症例報告、臨床研究、医院の運営方法、その他会員が聞いてためになることであれば何でもかまいません。症例報告については、紹介先の病院の協力を得る予定です。
- 〈発表時間〉 1演題10～15分で発表していただき、討論を含めて20分の予定です。
- 〈応募要領〉 発表内容を400字1～2枚にまとめて、西多摩医師会に Fax して下さい。
発表者の抄録は、医師会会報に掲載します。
なお、スライド、OHP等の使用を明記して下さい。
- 〈募集期間〉 平成15年12月1日～平成16年1月31日



各部だより



学術部

Information



《11月》

西多摩医師会学術講演会のご案内

① 日 時：平成15年11月14日（金）

場 所：公立阿伎留病院1階講堂

演 題：『排尿の異常について』— 前立腺肥大症を中心に —

公立阿伎留病院 院長 泌尿器科 岡 田 清 己 先生

② 日 時：平成15年11月18日（火）

場 所：西多摩医師会館

演 題：『最近のインスリン療法の考え方』

東京医科大学八王子医療センター内分泌代謝科 教授 植 木 彬 夫 先生

◇ 三公立病院学術講演会 ◇

日 時：平成15年11月19日（水） PM 7:30

場 所：公立福生病院講堂

演 題：①『癌の標準的外科治療について』

青梅市立総合病院外科部長 正 木 幸 喜 先生

座長 公立阿伎留病院外科部長 矢 嶋 幸 浩 先生

②『小児感染症における抗生剤の使い方』

公立阿伎留病院小児科部長 岩 本 孝 夫 先生

座長 青梅市立総合病院小児科部長 林 良 樹 先生

司会：公立福生病院内科 井 關 治 和 先生

(講演会終了後、懇親会を用意していますので、ご参加下さい。)

《学術講演会要旨1》

平成15年10月9日(木)

演題：『肝細胞癌の予知・治療・予防－最近の話題－』

講師：青梅市立総合病院消化器科部長 野 口 修 先生

【はじめに】肝細胞癌(以下HCC)は画像診断技術の向上、ウイルス性慢性肝炎の抗ウイルス治療の発展と、最先端治療手段の開発により治療成績が近年飛躍的に伸びてきている。つまり、HCCは「予知・治療・予防」が可能な悪性腫瘍となったのである。本日はHCCの最近の話題を解説する。

【HCCの予知】HCC症例の約90%はB型・C型肝炎を合併しているため、発症する見込みのある患者を事前に特定できる、特殊な癌である。C型肝炎からの発癌率は肝炎の進行に伴い増加し、慢性肝炎で年率0.5~3%、肝硬変で7%程度である。したがって軽度の肝炎では画像診断を年1~2回程度、進行した肝炎・肝硬変では年3~4回程度行う必要がある。また、ほとんどの慢性肝炎・代償期肝硬変は無症状であるため、発癌の早期発見の重要性についての患者教育がきわめて重要である。

【HCCの治療】治療法には大きく分けて手術(肝切除術)、インターベンション(TAE)、および局所治療(PEIT, RFAなど)がある。一般的に早期の症例ではいずれの治療法でも奏効率が高く、進行した症例では予後が不良となりやすい。特に経皮的エタノール注入(PEIT)やラジオ波熱凝固術(RFA)などの局所療法は経皮的治療であり低侵襲であるため、近年多くの施設で行われるようになってきている。これらの治療は進行した慢性肝疾患・肝硬変でも安全に施行でき、RFAは根治性も高い。一方、短所としてはTAEなどと異なり、大型肝癌、多発肝癌など進行した症例では治療困難である。より治療に適する段階で発見することが最も重要な因子である。

【HCCの予防】C型肝炎に対するインターフェロン治療が導入されてから10年が経過し、その治療経過の検討から、インターフェロン治療に成功した症例では明らかに発癌率が低下することが示され、HCCの予防効果が証明された。さらに、近年インターフェロン治療は治療法や副作用対策の改善が進歩した結果、約半数の症例で治療効果が見られるようになった。したがって、HCCの予防は肝炎治療を含めた広い視野に立ち、地域全体で取り組むべき課題となったといえる。

《学術講演会要旨2》

平成15年10月24日(金)

演題：『SARS 臨床像の検討』

講師：杏林大学感染症学講師 小 林 治 先生

重症急性呼吸器症候群(severe acute respiratory syndrome, SARS)は2003年初頭よりアジア地域を中心に世界的なアウトブレイクが発生した新興感染症として認知され、2003年3月にWHOより今世紀初めてglobal alert(世界的警告)が発信されるに至った

疾患である。SARS の日本における流行を予見して、演者は4月上旬より SARS 流行地である香港の Queen Mary Hospital (以下 QMH) に出向し SARS 治療の実態を視察する一方で、現在までの新興感染症の検討を参考に SARS の病態、感染防御対策を検討し、早くから本学付属病院での対策を講じてきた。この間に世界中の研究施設の精力的な検討により、SARS の実態は今までに類を見ない程に急速に判明し、報告が相次いでいる。SARS は7月には世界的終息宣言がなされる一方で今後も再興する懸念から日本においては指定感染症とされた。そこで、今回はそのように氾濫する SARS に関する情報を検討したい。

公立阿伎留病院学術講演会

演題：『C型肝炎の検診（診断）の治療の新しい考え方』

講師：日本大学医学部内科学講座内科3部門教授 荒川 泰行 先生

肝硬変の原因：1983年にはB型肝炎24%、アルコール性26%、原因不明43%であったが、1994年にはB型肝炎10%、C型肝炎60%、アルコール性16%、非B非C 8%と変わった。

肝癌の死亡率：現在 34,000人/年と増加していて、その増加の主な原因は男性のC型肝炎の増加である。

肝癌の発症経過：

HBV 偶然的発症があり、肝硬変以前にも発症しやすい。

HCV 段階的発症が多く、肝硬変を経て発症することが多い。

HCV 肝炎の経過：

急性肝炎の60~80%が慢性肝炎に移行（自然治癒は20~40%）、その30~40%が肝硬変へ進行し（この段階での自然治癒率 2~5%）、その70%が肝癌になる。

肝の線維化の状態により F0 ~ F4 に分類される。

この線維化は血小板数を目安とすることができる。

	肝癌：10年間の発症率	血小板数
F1	5%	15~18万
F2	15%	13~15万
F3	30%	10~13万
F4 (肝硬変)	70%	10万以下

C型慢性肝炎に対する IFN 療法：

著効 36%、有効 7%、無効 57%

IFN 総投与量が多いほど治療効果がある。

300メガ単位以下 28.2%、300~599メガ単位 40%、600メガ単位以上 49%

HCV・RNA 群別と治療効果

ウイルス量 多	8.3%	34.6%
小	43.0%	68.0%
	1 群	2 群

IFN 療法後の肝癌発症率

著効例 5%、有効例 0%、無効例 13.4%、非治療群 38%

ウイルス完全駆除例の中にも肝癌の発症はある！ 多分 IFN 治療前に微小肝癌が存在していたためであろう。IFN 治療無効例でも非治療群よりは肝癌の発症は少なくなる。この理由として IFN の効腫瘍作用の関与が考えられている。

(文責 葉山)

第9回西多摩心臓病研究会報告

平成15年9月19日(金)、青梅市立総合病院講堂に於いて、第9回西多摩心臓病研究会が開催されました。この会は、従来「西多摩心筋梗塞研究会」として行なわれていた勉強会を、より広い心疾患を対象とした研究会として名称変更したものです。3公立病院の循環器専門医と各地区の開業医が幹事となり、青梅市立総合病院、公立福生病院、公立阿伎留病院の順に持ち回りで年2回開催される予定です。心臓病についての会員の知識向上と病診連携を深め地域医療のレベルアップを目的とした有意義な勉強会と考えております。今後この会がますます盛会になりますよう多くの先生方のご参加をお願いいたします。

以下に今回の内容を紹介いたします。

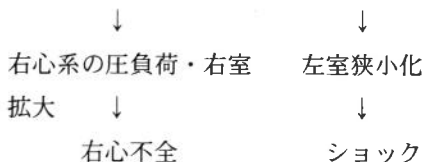
(1) 特別講演

「肺血栓塞栓症の診断と治療」－実地医家が肺塞栓を見逃さないために－

講師 武蔵野赤十字病院副院長 丹羽明博先生

☆急性肺血栓塞栓症 (aPTE) の病態生理

肺動脈の急性閉塞→左房へ流入する血液↓



☆aPTE の診断

- ① 症状と聴診
- ② 心電図、血液ガス、心エコー
- ③ D-dimer
- ④ RI
- ⑤ spiral CT, 肺動脈造影

- ◎聴診で喘鳴がない、心音でⅡ音亢進。
- ◎心電図は基本的に瀬脈。SIQⅢ、aVRでlateRが高い、V6でS、Ⅲで陰性T、SITⅢQⅢ、不全、右脚ブロック、右側胸部誘導のT陰性化など多彩で経時的に変化。
- ◎D-dimerが正常であれば、PTEは否定的。
- ◎肺動脈造影で確定診断。
- ◎PaO₂ 80 torr以下、PaCO₂ 35 torr以下が多い。
- ◎心エコーで右心系の拡大、Dshaped LV。

☆aPTEの治療

- ①線溶療法：血栓を肺動脈の抹消へとばすことを目的とする。
- ②抗凝固療法：ヘパリンの有用性は確立。
- ③カテーテルインターベンション：血栓吸引術、血栓破碎術。
- ④急性期2次予防として、経口抗凝固療法、一時的下大静脈フィルターの使用、早期離床。

☆実地医家がPTEを見逃さないためには

- ◎aPTEの存在を念頭に置く。
- ◎息切れ・呼吸困難・胸背部痛・一過性失神・ふらつきに注意。
- ◎肺ラ音がない、Ⅱ音亢進、瀬脈が多い。
- ◎パルスオキシメーターでSpO₂低下を確認。
- ◎心電図を記録。
- ◎心エコーを記録。

(2) 症例報告

- ①胸痛で来院したタコツボ心筋症
田中医院（青梅） 田中穂積先生
 - ②失神発作で来院した不整脈源性右室心筋症
青梅市立総合病院 小野裕一先生
- の興味ある2症例の発表がありました。

今回は青梅消防署救急隊にも声をかけ、多数の救急隊員の方も参加されました。次回は来年3月頃、公立福生病院で第10回が開催されます。心臓病に少しでも興味のある先生方は非ご出席下さい。どうぞ宜しくお願いいたします。

（文責 野本正嗣）

● **理事会報告**

★ Information ●

9月定例理事会**平成15年9月24日****西多摩医師会館**

〔出席者：宮川・真鍋・玉木・新井・石田・神尾・小机・小林・坂本・瀬戸岡・葉山・細谷・森本・松原・足立〕

【1】 報告事項**1. 各部報告**

総務部－10月12日(月) 創立90周年記念懇親会をパレスホテル立川で開催予定。

学術部－10月9日(木)「肝癌の予防、予知、治療」 青梅市立総合病院。

10月24日(金)「SARS 臨床像の検討」 公立阿伎留病院。

産業医－10月1日(水) 西多摩地域産業保健センター運営協議会 西多摩医師会館。

2. 地区会よりの報告

青梅－9月19日(金) 医師会とケアマネージャーとの意見交換会を開催。

あきる野－9月15日(月) 定例会で青梅総合病院野口先生による「肝炎」の講演会開催。

3. その他

学術部－9月19日に3つの講演会が重複していた。なるべく重ならないように事前に医師会事務局へ連絡することを徹底して欲しい。

【2】 報告承認事項**1. 入会会員について** — 承認 —

A会員 福井えみ(真愛眼科医院、羽村市)

B会員 青梅市立総合病院 1名、公立阿伎留病院 1名、高木病院 1名、

目白第二病院 1名

(参考) 退会会員 瀧浦文明(滝浦医院)、山下和夫(真愛眼科医院)、公立阿伎留病院 1名、

公立福生病院 2名

2. 青梅簡易裁判所民事調停委員候補者の推薦について — 承認 —

土田守一会員

3. 平成15年度第2回西多摩地域歯科保健推進協議会委員の推薦について — 承認 —

細谷純一郎理事

【3】 協議事項**1. 小児初療救急について**

八王子小児病院の廃止に伴い、西多摩医療圏での小児医療の充実に向けた都の考え方が示された。この方針に対して西多摩医師会としても検討してはどうか。

羽村準夜救急センターは大人も診療しているため、小児救急診療所の対象とならない。

青梅市立総合病院は研修医も動員して西多摩全域の小児救急に対応する体制作りをしたいと考えている。

医師会として、西多摩小児救急体制を協議する委員会を設立する。

10月定例理事会

平成15年10月14日

西多摩医師会館

出席者〔宮川・真鍋・玉木・新井・小机・小林・原・瀬戸岡・葉山・細谷・横田・松原・足立〕

【1】 報告事項**1. 都医地区医師会長協議会報告****①平成15年度学校保健（学校医）研修会の開催について**

東京都教職員研修センター、目黒区目黒1-1-14 11月13日（木）午後3時より5時まで。

②新医師臨床研修制度に関する取り組みについて

この制度の地域推進協議会を創設すること：地域医療部（石田理事）にて検討する

③インフルエンザ予防接種について

高齢者（65歳以上）の接種自己負担金（2200円）を守らない医療機関は、契約違反となるので注意する必要がある。

2. 各部報告

総務部－10月12日（月）に創立90周年記念懇親会に120名が参加した。

11月10日（月）医療機能連携推進事業委員会の開催予定。

福祉－12月17日（水）クリスマス会を昭和館にて開催予定、午後7時半より。

学術部－11月14日（金）「排尿障害の診断と治療」講師 岡田清己院長（公立阿伎留病院）

11月18日（火）「糖尿病におけるインスリン療法について」講師 東京医科大学
内分泌代謝科 教授 植木彬夫先生（西多摩医師会館）

11月19日（水）三公立病院学術講演会（公立福生病院）

11月29日（土）多摩医学会（フォレストイン昭和館）、市民健康講座（羽村コミュニティセンター）

公衆衛生－10月3日（金）在宅難病調節委員会が開催された。

学校医－11月27日（木）西多摩学校保健連絡協議会の開催予定。

産業医－10月1日（水）西多摩地域産業保険センター運営協議会が開催された。

3. 地区会よりの報告

青梅－11月5日 心電図勉強会を開催。

4. その他

- ① 東京都糖尿病協会主催による公開糖尿病教室「みんなで糖尿病に対処する」の後援名義許可について — 承認 —
2004年1月24日(土) 福生市民会館小ホール 司会 高村 宏、座長 原 義人
- ② 三師会市民公開講座 10月25日(土) あきる野市ルピアにて午後3時より開催。

【2】 報告承認事項

1. 入会会員について — 承認 —

B会員 青梅市立総合病院 1名、公立阿伎留病院 2名、
(参考) 退会 青梅市立総合病院 1名、公立福生病院 1名、公立阿伎留病院 3名、
福生クリニック 1名

【3】 協議事項

1. 平成16年度自治体よりの諸手当について

西多摩地域市町村保健衛生担当課長会より、他市と比して西多摩は高額、人事院勧告が引き下げ、補助金が引き下げられている、税収が伸びないなどの理由から減額の方向性で協議を求められている。

今後これらの提案に対して協議して行く。

2. 国保主務担当者との懇親会について

11月26日(水) に西多摩医師会館にて午後1時半より開催予定。

3. 徳州会病院設立に対する反対趣意書について — 承認 —

昭島市に徳州会が596床の病院建設を予定していることにつき、昭島医師会、北多摩医師会、東京都医師会は反対趣意書をすでに提出した。この経緯に沿って西多摩医師会も反対趣意書を提出する予定である。

4. 平成16年度新年賀詞交歓会の予定

平成16年1月17日(土) に青梅福祉センターにて開催予定。

会 員 通 知

- 会報
- 産業医研修会 (11/29 町田市医師会)
- 産業医研修会 (11/29 練馬区医師会)
- 産業医研修会 (12/13 東京都医師会)
- 平成15年度東京都医師会学校医会第3回学校医研修会の開催について

表紙のことは

『彩雲』

今年の8月、北アルプス中腹の鏡池に登り着いた時、下では見えていた槍穂高は雲に包まれていました。「鏡池に写る槍穂高」に期待していたので、チョッとガッカリしました。鏡平小屋の前でお昼を食べていると、驚きの声が上がりました。見上げると、入道雲の上の青空をバックに、虹の切れっ端のように五色に輝く雲が浮かんでいます。「彩雲^{サイウン}」です。これは槍穂高に劣らぬ獲物だぞ、とカメラを向けました。山歩きを始めて50年、彩雲を見たのは初めてです。「五色の雲で瑞雲とも呼ばれ、瑞兆・めでたいことの起こるきざしとされる」と辞書に出ています。）

この先、何かいいことがあるのではと期待しましたが、翌日は雨降り、ポンチョをかぶって休みなしの7時間の険しい下り道には参りました。
(石井好明)

あとがき

夏、ケミコンの裏の坂道は、耳を聳せんばかりの蝉しぐれの道です。9月末の雨の翌日、あの坂道を通りましたら、雨の前日まで盛んに聞こえていた蝉の声が全く聞こえません。聞こえるのは地表で鳴くコオロギの声だけです。あの雨で、蝉は一斉に死んでしまったのでしょうか。夏の終わりを、あれほどハッキリと知らされたことはありません。

(石井好明)



訃 報

あきる野市伊奈 477-1

医療法人社団 時寿会 増戸クリニック

理事長 田中映吾先生

昭和7年8月7日生 享年71才



平成15年10月7日逝去されました。

10月9日 田中克明様（ご長男様）が喪主となり自宅にて密葬で執り行われました。

謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

社団法人 西多摩医師会

平成15年11月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会

葉山 隆

森本 晋

石井 好明

池田 譲治

坂井 也彦

鈴木 道彦

込田 茂夫

馬場 眞澄

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993



信頼のヒューマンリレーション。
医療ネットワークが結ぶ、健康への希い。

医薬品・試薬・医療機器の総合商社

 ● 東邦薬品株式会社

〒155 東京都世田谷区代沢5-2-1 TEL.03(419)7811(大代表)

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659